

## 【インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策】 鹿児島県小学校部会

公益財団法人 日本バドミントン協会「新型コロナウイルス感染症の対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」より抜粋

- 大会当日の行動における注意事項（各自、熟読の上遵守してください。）
  - ・ 感染症対策が遵守できないと運営側が判断した場合、大会途中でも中止を宣言する。
  - ・ 今大会において感染を起こさないために、選手・関係者又は周辺の方に、感染が疑われる事象が発生した場合には、必ず「棄権」するよう強く要望します。
  - ・ 原則として選手及び関係者（保護者、兄弟姉妹、祖父母、他）の健康・安全の確保を最優先とする。
  - ・ 体調不良の方の出場および来場を禁止する。
  - ・ 入口での検温（小学生 37.5° 以上・大人 37.0° 以上）により入館を禁止する。
  - ・ 選手・大会関係者が必ず持参する物：①マスク（3枚以上）②外履きを入れる袋
- 体育館（観覧席）の行動
  - ・ 体育館に入場する全ての方は、当日の朝、検温を行うこと。万一、発熱、倦怠感、咳、咽頭痛などの自覚症状がある方は、来場を控えること。（入場時に検温を行います。）
  - ・ 受付時に、「健康確認シート」を提出すること。  
提出が無い場合は入場及び大会参加を認めない。当日の棄権扱いとし参加料の返却も行わない。
  - ・ 各自、常時マスクの着用（試合中以外）とする。（交換用のマスクを準備して使用済みは、各自で処分する）
  - ・ 靴箱の使用を禁止し外履きを各自持参した袋に入れ自己管理を行う。
  - ・ 試合後は各コートにて消毒を行い観覧席へ向かうこと。
- 選手及び観客（応援者）の入場制限について
  - ・ 事前に発表する試合スケジュール及びタイムテーブルにより分散入場を指示する。
  - ・ 各選手に1名の保護者とし人数制限により入館者を制限する。幼児も人数の対象とする。
  - ・ 保護者以外の監督、指導者、コーチも必要最小限とする。
- 開会式、試合中、閉会式について
  - ・ 開閉会式は、観客席にて行い表彰式は簡略化する。
  - ・ 換気は常時行うことを基本とし施設内の換気施設使用や窓や扉などを開放し実施する。
  - ・ 常時の換気が出来ない場合は、換気のタイミングや換気時間のある程度決め、試合を一時中断し換気を行う。
  - ・ 主審・線審は参加人数制限の緩和策として小学生及びその関係者による審判を基本とするが、2/26 シングルス公式ゲームは、本部にて主審を準備する。
  - ・ コールの後に観覧席より指示されたコートに入ること。
  - ・ 1階フロアへは、指定された入口を使用しそれ以外は、使用しないこと
  - ・ 各コートには、選手、審判、監督（コーチ席1名）のみとする。
  - ・ コートサイドには、トーナメントバッグの持ち込みを許可し飲み物、タオルなどを収容させる。
  - ・ 試合前・試合後に各コートに置いてある消毒液で主審、線審、選手、コーチの手を消毒する。（該当の主審による）
  - ・ 試合中を除きそれ以外ではマスクを着用とする。（試合中のマスク着用も可とする。）
  - ・ 試合中の掛け声、ダブルスでのタッチなどを極力抑えること。

- 各コートのモップ掛けは、ゲーム毎の試合終了後に当該選手にて行う。
- 試合前・試合後の握手は、行わず挨拶のみとする。
- 指定場所でスコアー受け渡しを待つ間は、2m以上の間隔をあけて待機すること。
- 応援は指定された2階席で行い、応援のためコート近くへの移動は行わない。
- 応援は、声の発生を抑え、拍手のみでの応援を推奨する。
- 昼食の時間は特にもうけない。お互いの間隔も2m以上を保ち食事中の会話は控える。
- 自身の試合・役割（審判等）が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに帰宅すること。
- ごみ処理（マスク等）は、各自持ち帰り自宅にて処分する。

感染状況の悪化によっては、大会中止も視野に入れながら十分検討した上で、上記の処置により大会開催を決定いたしました。

大会参加については、小学生を対象とした大会なので、全てに対しご家庭及び団体指導者での判断による参加とさせていただきます。